

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム
2560地区ガバナー 田中 政春
高田ロータリー会長 本山 秀樹
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

第25回例会 ■ 1月13日(金)

No.25

会長挨拶 ● 本山 秀樹



1月は職業奉仕月間です。職業奉仕はロータリー独自の奉仕分野であり、ロータリー活動の中心だと言われています。そして、職業奉仕はロータリーが職業人の集まりであり、自らの職業の実践を通して他人の役に立つことから始まります。ここで大切なことが「奉仕の心」であり、その行動を判断する基準がロータリアンの行動基準でもある「4つのテスト」であります。格調高い「4つのテスト」を実践し、自らの職業奉仕でロータリーを楽しみたいものです。

昨日、新年の挨拶回りで糸魚川を訪問しました。ようやく瓦礫の撤去、仮囲いなどが始まったようであり、しかし、復旧復興には長い時間がかかります。先週お願いした義援金箱を回します。田中ガバナー事務所からはお一人様1,000円以上とありますが、同じ第7分区内のことでもありますのでロータリーの友情に免じて2,000円以上の義援金を頂戴できればと思います。宜しくお願いします。

出席報告

出席率 98.18%

セレモニー

新会員入会式

吉原耕一君 (有)長養館 代表取締役



2017-18年度地区役員委嘱状伝達

大島精次君・東山昕也君（地区諮問委員）
羽深耕時君（会員増強委員会 委員）・チャールズ・C・ストラットン君（青少年交換委員会 委員）

ポールハリスフェロー表彰 本山秀樹君・堀井靖功君
米山記念奨学金贈呈 白麗萍さん

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

佐藤一男君（地区職業奉仕委員長／栃尾 RC）
加藤良作君——今ほど誕生日をいただきましたが、1月29日で103歳を迎えました。介護施設に入所し元気で生活しています。

田中正人君——家内の誕生日と例会日が重なりました。きれいなお花を頂戴しました。少し、点数を稼ぐことが出来ました。ありがとうございました。

吉原耕一君——本日より、お仲間に入れていただきます。よろしく願い致します。

親睦委員会——1月会員お誕生日各お祝い

幹事報告

配布物：週報No.24

報告：糸魚川大火義援金について（例会中に66,500円集まりました）

卓話

職業奉仕について



2560地区職業奉仕委員長 佐藤 一男 様 (栃尾RC)

最初に自己紹介をいたします。私は栃尾 RC の出身です。朝出てくる前に 40cm 位の雪を除雪してまいりました。雪深い栃尾ですが油揚げと織物が有名でした。しかし、大きな織物の会社は全て倒産してしまいました。地区の人口もピークは 38,000 人だったのが今は 19,000 人を切り、毎年 300 ~ 400 人減少しています。わが栃尾 RC は微力ではありますが地域のために貢献しようと努力しています。

また、私のクラブは田中作次元 RI 会長の生まれ故郷です。実家があるので年に 1・2 回は来られているようです。今も奥様ともども長岡の花火をご覧いただくなど毎年交流があります。RI 会長就任のお祝いで花桃の植樹もいたしました。

続きまして 2560 地区の田中政春ガバナーの話です。ガバナーは病院と介護老人施設を運営されています。ガバナーは認知症介護を通じて職業奉仕の真の実践をされています。

鈴木年度のとき私は社会奉仕委員会の担当幹事でした。そのとき白根 RC のもとで社会奉仕セミナーが開催され、その際高田 RC の桜の植育事業の発表があり、さすが大きい伝統があるクラブは素晴らしい事業を継続していると感銘を受けました。

今年度の地区大会ではセミナー講師として 2800 地区の池田パストガバナー (鶴岡 RC) から

お話があり「職業奉仕とは人生が終わるまで成長する活動なのである。また倫理をもって実践するものなり」と説いておられました。また、RC とライオンズクラブの違いは何なのかと。それは、奉仕は同じですがロータリーは自分を鍛える場であり、ライオンズはそれが無いのだということで、このお話にも感銘を受けました。

10 月 28 日に行われた職業奉仕委員長セミナーの中から紹介をさせていただきます。柏崎 RC の歯科医師である鈴木先生のお話です。先生は職業を通じて人々の健康と幸せに貢献しておられます。ご自身は医師から匙を投げられるほど病弱でしたが、現在は健康になられその秘訣は日本食特に玄米食だそうです。パンや菓子、清涼飲料は一切口にしないそうです。詳しくは皆さまにリーフレットをお配りしておりますので、ご覧いただきたいと思います。

最後に、職業奉仕委員会としては各クラブに年に 1 回の職場訪問をお願いしています。昨年度は白根 RC と一緒に新潟中央消防局に行っていました。また 4 つのテストの唱和についてもお願いします。

社会奉仕と両輪の輪としてこれからも職業奉仕委員会の活動を頑張りたいと思います。今後も、共に素晴らしい RC 活動にまい進していきましょう。

ロータリーの友 1 月号より

P20 ~ 人類に奉仕するロータリー 第 45 回 ロータリー研究会レポート (抜粋)

※昨年 11 月 30 日と 12 月 1 日の両日開催された研究会の開催状況についてのレポートです。主に昨年 4 月の規定審議会の結果について意見交換が行われています。

【ロータリーはどこに行こうとしているのか】

ロータリー研究会招集者 斎藤 RI 理事

「ソウル国際大会で、ジョン F. ジャーム RI 会長は『ロータリーの潮目が変わった』とつぶやかれました。私たちは 2016 年 4 月に開催された規定審議会の結果を受けて、ロータリーの歴史が転換した年だったと、後年、ロータリーの歴史家たちに語れると思っています。」

規定審議会 横山代表委員

「今回の規定審議会には、2 つの意義があると思います。1 つ目はクラブ運営に柔軟性を認める新しいルールが導入されたこと。~しかし、ロータリーの伝統的な基本理念や職業分類といった核心部分は変わらなかった、というのが 2 つ目の大きな意義ではないかと思えます」

規定審議会 オブザーバー 小船井氏

「2016 年規定審議会の最大のトピックの一つは『会員身分の規定を変更する件』であったと思います。~それは 6 分類全てを削除し正会員の定義だけの記載となったことです。」